

主題：一神としての栄光の姿を現された主イエスこそキリストである— 2022/2/ 2 (水曜日)

目標：一栄光を捨てて十字架への道を選ばれた意味を知る—

キリスト伝

第四ガリラヤ伝道 ④

マタイの福音書 17:1～21

マルコの福音書 9:14～29

「山頂の栄光と山麓の悲惨」

ご自身の苦難の十字架を予告された主イエスは、神である本当の姿を弟子たちにお見せになった。主の十字架とは、人間イエス様が非業の死を遂げて終わるというだけの話ではない。

主の十字架は、全ての人の救いの門を開く鍵であり、これこそ「神の子羊」の役割である。

まず、全ての人の罪を背負えるのは、罪の無い、真の神の御子キリストだけである。

全ての人の罪を背負ったキリストが、木に架けられ、呪われ、死ぬ事によってだけ、全ての人のための身代わりの処罰が実行される。全ての人の罪の赦しが完成されるのである（ガラテヤ 3:13）

そしてこの救いの御業は、単に主イエスの考え出した事ではない。主イエスは弟子たちに父なる神様の確かな意志、旧約聖書の約束をしっかりと教えておきたいと思われたのである。

私たちクリスチャンは自分のために成された十字架の意味を知り、しっかり受け止め、主イエスをキリストと固く信じ、さらに主を愛する者にされたい。

【聖書の学び】

山の名前は、ピリポ・カイザリヤが北のヘルモン山の麓であることから、古くからヘルモン山だといわれている。

I、主イエスの変貌 (マタイ 17:1～4 p34)

1、弟子三人だけを連れて山に登られた主イエスは、山の上でどう変わられたのでしょうか。 (v2)

・顔

・衣

2、そこに現れたモーセとエリヤは何を示しているのでしょうか (v3)

①モーセ… 律法にかかわる代表者

②エリヤ… 預言者の代表者

この二人は旧約聖書全体の代表者。
主イエスが旧約聖書の指示するメシヤであることを証言している。

※参照ルカ 9:31～33(p132)--- 主イエスと彼らが話合っていた内容 = 十字架

II、天からの声 (マタイ 17: 4～13)

1、ペテロが訳が分からず話し出したとき、何が起きたのでしょうか。

①光輝く雲… 全能の神の臨在を表している。 (v5)

②雲の中からの声(参マタイ 3:17) … バプテスマの時の言葉に、さらに加えられている。

- ・「これはわたしの愛する子(詩篇 2:7)
わたしはこれを喜ぶ」 (イザヤ 42:1)
- ・「彼の言うことを聞け」(参申命記 18:15)

} 神の御子である主イエスの言われることを
全て信じ、従うことを求められている。

2、主イエスは三人の弟子たちに何と言われましたか？ (v9)

※参照Ⅱペテロ 1：16～18(p474)

3、主イエスはエリヤであるバプテスマのヨハネの死と合わせて、
ご自分のことをどのようになると言われたのでしょうか。 (v12)

Ⅲ、罪の世界である山麓の現実 (マルコ 9：14～29)

1、山の麓で待っていたのは、どのような状況でしょうか。

2、息子を助きたい父親に何が欠けていたのでしょうか。 (マルコ 9：22～23)

3、残っていた弟子たちは、どうして助けられなかったの
でしょうか？ (v28,29)

* **ディスカッション** (心を開いて互いに話し合ってみましょう)

Q. 主の栄光の姿を見ることを許された三人は、他とどう違うのか考えてみましょう。
今日の学びについて、思うこと、教えられたことも、分かち合いましょう。